



Muli uli? 日に日に気温と湿度が増し、非常に暑くなってきているカロンガです。先日、15分程度でしたが、初めてしっかりと雨が降りました。もうすぐ**雨季**が始まります。マラウイは**マンゴー**のシーズンに入りました!!ここにはマンゴーの樹がそこら中に生えており、最近はその樹の下で常に子供たちの姿が見られます。石や落としたマンゴーを投げて新たな実を採っておやつにします。とってもたくさんの種類のあるマンゴー、どれも美味しく、最近ではマンゴーを使ったお菓子作りに精を出しています。

今は乾季の終わりで、食べ物(特に野菜)の種類も数も少なく、これから雨季の中頃まで、食料品の値上がりが見込まれます。昨年は雨量が少なく、一昨年は洪水により、メイズ(主食のトウモロコシ)が不作だったので、今年は豊作になることを国民皆が願っています。



道端のマンゴー売り



この中には4種類のマンゴーがあります!

活動

青年海外協力隊、というと井戸を掘っている姿を想像する方が多いと思います。もちろん、井戸作りを行う隊員もいますが、少数です。マラウイに派遣されているのは主に**医療系、教育系、地域開発系、パソコン関係**です。医療系隊員は病院やヘルスセンター、HIV/AIDS 関連機関で働いています。(元々医療職者ではない人達も多くいます) 教育系隊員は日本でいう小学校～高校に入って直接授業をしたり、教員たちに教え方を指導したりします。地域開発系隊員は農業や水に関することや、地域や女性の収入向上を目指して幅広く様々な活動を行います。

私は看護師隊員なので、カロンガの県立病院に派遣されています。私がここで計画している活動は大きく分けて2つ。①**病院内の感染予防** ②**予防教育** です。具体的内容に関しては追々活動内容と共にこの通信でお伝えしていこうと思います。最近②の予防教育を行う予定の学校にお邪魔して授業風景を見学させていただきました。

授業風景



1クラス約100人の生徒。電気はなく、また、ほとんどの教室に机も椅子もありません。

教室の数が足りないので、木の下(外)でも授業が行われます。



かまど作り



カロンガには現在、私を含め、3人の青年海外協力隊員がいます。その中の一人、コミュニティ開発の坂井晴香(マラウイでのニックネーム:ニャモヨ)さんの活動の見学をさせてもらってきました。ニャモヨさんの仕事は主に農業系です。有機肥料の作り方やかまどの作り方を村民に指導したりしています。上の写真はニャモヨさん指導のもと、村民と一緒に作ったかまど。セメントの代わりとなる泥のようなものとレンガを使います。

泥の材料は、蟻塚の土、砂、牛糞、水です。牛糞を混ぜるのは、保温性を上げるためだそうです。この日は約3時間で完成!この後、3週間程自然乾燥させて使用可能になります。右のスペースは使い終わった薪の火を消すための砂を入れます。

Q:かまどを作る利点は?

A:①使用する薪の削減

多くの村民はたき火を利用して調理をしています。しかし、ただ薪を燃やすだけでは熱効率が悪く、多量の薪を必要とするため、かまどの使用を勧めています。薪の使用量が1/3程度に減った家庭もあります。

②火傷等の火のトラブルの減少

マラウイでは子供達が火の周りで遊んでいる光景をよく目にします。子供の怪我の多くは火傷です。かまどを使用することによって、トラブルの減少に繋がります。

Q:時間と費用は?

A:制作時間:かまどだけだと半日、壁も作ると1日～数日。乾燥に3週間程度。費用:規模によるが安いです。レンガ1つ10MKw(約1.4円)であり、泥の材料は自然の物のため、無料。レンガも作ろうと思えば自作できます。よって、経済的負担はとても小さく作ることができます。

村によっては、坂井さんがかまど作りを直接教えたのは1軒だけであっても、村民同士で教え合い、現在では多くの家庭でかまどを使用している所もあります。下の写真は、かまど作りを推進する村の催し物。最初にかまど作りを教えたニャモヨさんに歌とダンスで感謝を示し、かまどの素晴らしさを伝える劇を披露してくれました。



バケツの下にあるかご、これは食べ物の**保温容器**です。マラウイでは電気がない家庭が大半のため、大変役に立ちます!保温時間はなんと**8時間**とのこと!!写真は、坂井さんと一緒に活動している同地域の普及員が村人に説明している所

ンゴンデ族のお祭り



11/4(月)に北部最大の部族、「**ンゴンデ族**」のお祭りがカロンガでありました。マラウイの軍の最高司令官をゲストに招き、牛7頭分の肉や、シマ、ご飯を無料で配布したりと、大規模なお祭りでした。

10グループ程が、アフリカの伝統的太鼓や、ヒョウタンの笛、竹でできた木琴のような楽器等を使い、伝統的ダンスや歌を披露しました。女性のダンスは円になり、回りながら踊る、というスタイルが基本のようです。ダンスが大好きなマラウイアン。飛び込み参加もあり大いに盛り上がりました。

これだけ大規模なお祭りだったのに、宣伝等は特になく、口コミで開催を知る、という感じで、開始時間も昼くらいという何とも適当でマラウイらしいお祭りでした。



アフリカの伝統的太鼓



チテンジ(伝統的布)を巻いて踊る女性達

日本の一部地域ではもう雪も降ったそうですね。風邪など気を付けてお過ごしください。
Zikomo!! Yewo!!
Tionanegge (トゥンブカ語でまたね)